

肝炎ウイルス検査普及状況等に関する調査

2008.10月～2009.3月

1. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査

(一般住民・広島県) **N=4,862**

一般住民80万人規模のイベント会場にて、聞き取り調査

2. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査および肝炎ウイルス検査

(職域集団・広島県) **N=166**

3. 肝炎ウイルス検査の受診状況等調査および肝炎ウイルス検査

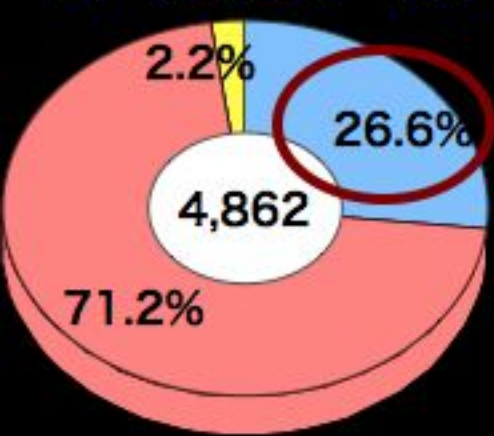
(住民基本台帳を用いた全数調査・石川県) **N=2,552**

石川県K市(全人口6,060人)の20歳以上 全住民 4,543人とした、郵送による全数調査。

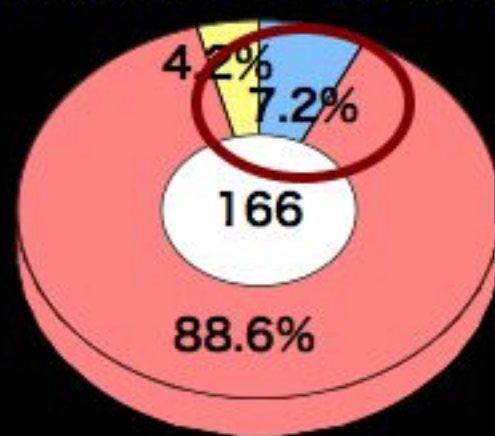
肝炎ウイルス検査の受診状況（一般住民広島県・職域・住民石川県）

2008.10月～2009.3月

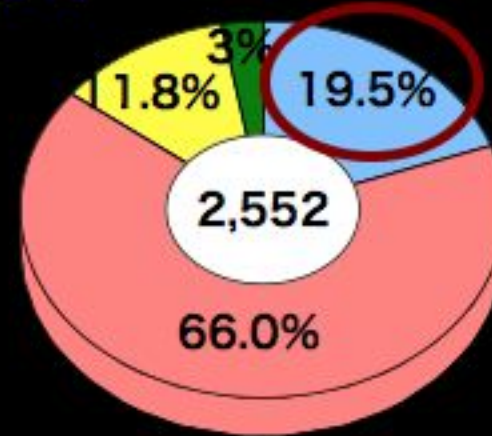
Q：肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？



一般住民広島県



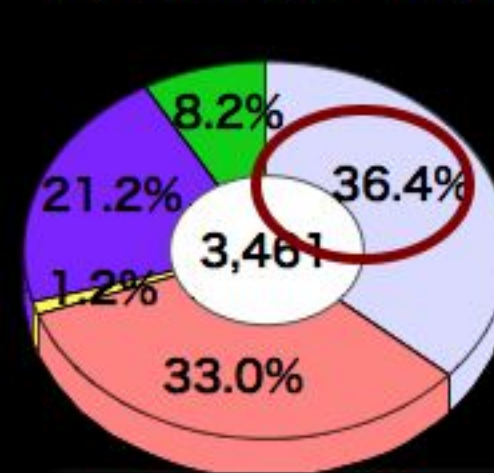
職域



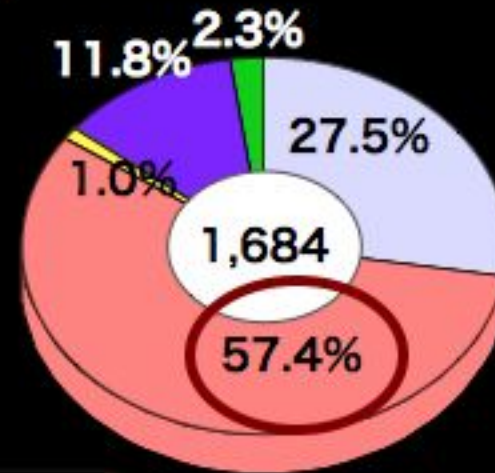
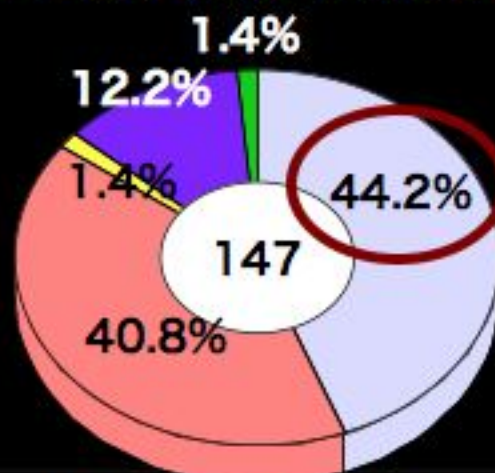
住民石川県

- 受けたことがある
- 受けたことがない
- 受けたかどうかわからない
- 無回答

Q：肝炎ウイルス検査を受けなかった理由は？



女性は男性と比べ、受けたことがある割合が多かった
 節目検診対象の年齢層（40歳～74歳）では、約33%が検査を受けていた
 受けたことがない40～74歳代の女性は、「機会がなかった」と答えた
 75歳以上の高齢者と50～60歳代は、受ける必要がないと思っていた



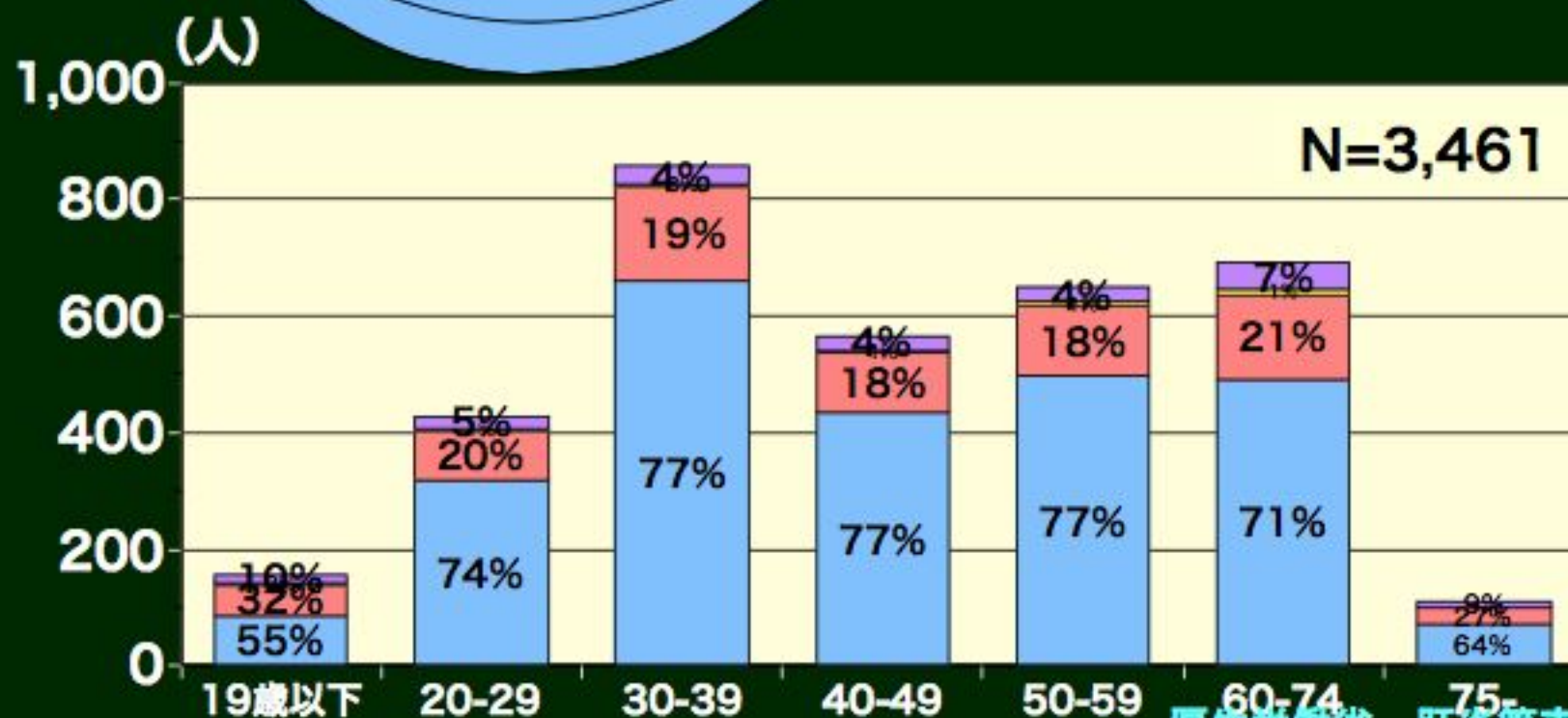
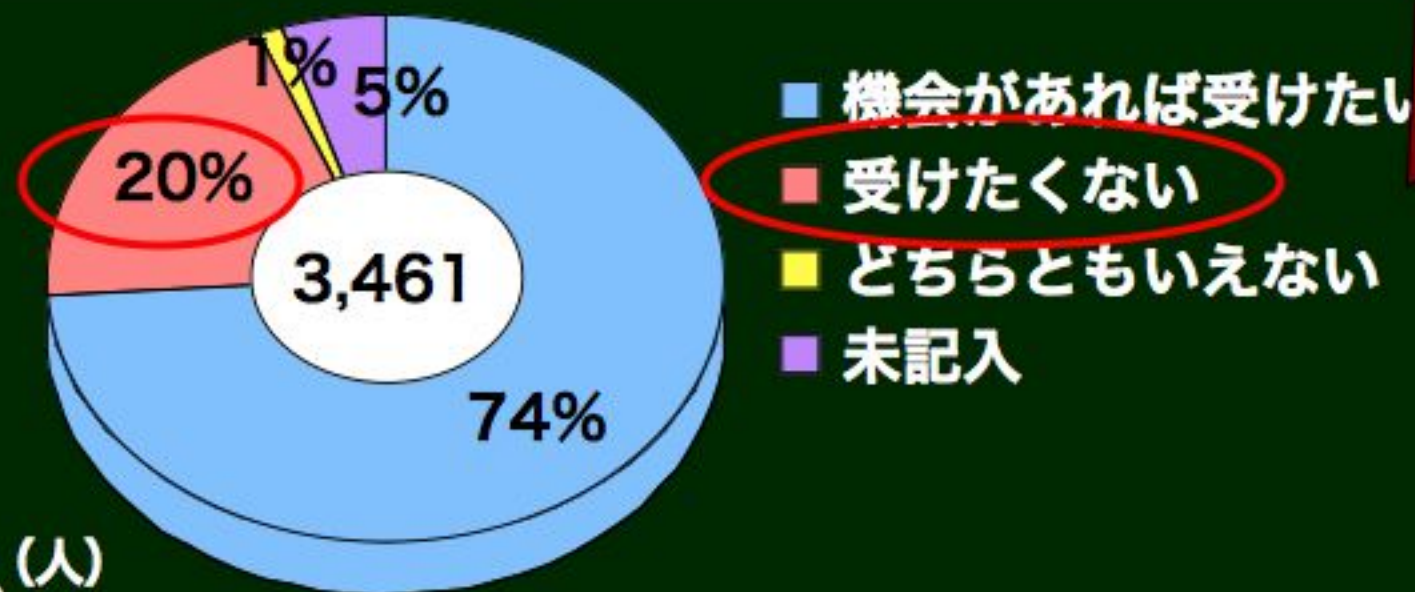
- 機会がなかった
- 知らなかった
- 受けたくない
- 受ける必要がないと思っていた
- 未記入

- ・ 職域における検査の機会
- ・ 検診の必要性の周知がまだ重要である
- ・ 検査の機会の拡張、対象者を絞った広報の徹底が必要である。

肝炎ウイルス検査の受診状況（一般住民広島県）

2008.10月~2009.3月

肝炎ウイルス検診（検査）を受けたことがない(3,461例)：
今後受けたいか



肝炎及び肝炎対策の現状にかかわる 疫学的考察

1. 患者数・感染者数について

2. 肝炎ウイルス検査等受診状況について

3. 肝炎及び肝炎対策の課題について

3. 肝炎及び肝炎対策の課題について

キャリア対策

1. (感染を知らないまま) 潜在しているキャリア

●検査の必要性

- ・肝炎ウイルス検査 : 対象者の拡大--職域、家族も含む
: 受診機会の拡大 - 対象を絞った利便性
: 検査の必要性/無料検査 (情報の提供)

2. 患者としてすでに通院・入院しているキャリア

- ・治療 : 肝炎治療に適した医療 : 治療効果等 (情報の提供)
: 医療費補助の運用、効果
- ・肝がん早期発見--- プロトコル作成

●患者数把握のための検討

3. (感染を知ったが/検査をしたが) 受診をしないままにいるキャリア

- ・医療機関受診率の把握と肝炎診療ネットワークへの連携
- ・公費助成により見出されたキャリアの健康管理、医療機関受診率の把握等の調査

●現状把握と要因分析、対策

4. 感染予防 : キャリアの新規発生状況の把握と対策